

週間漁海況情報—2018年第27号

平成30年7月10日

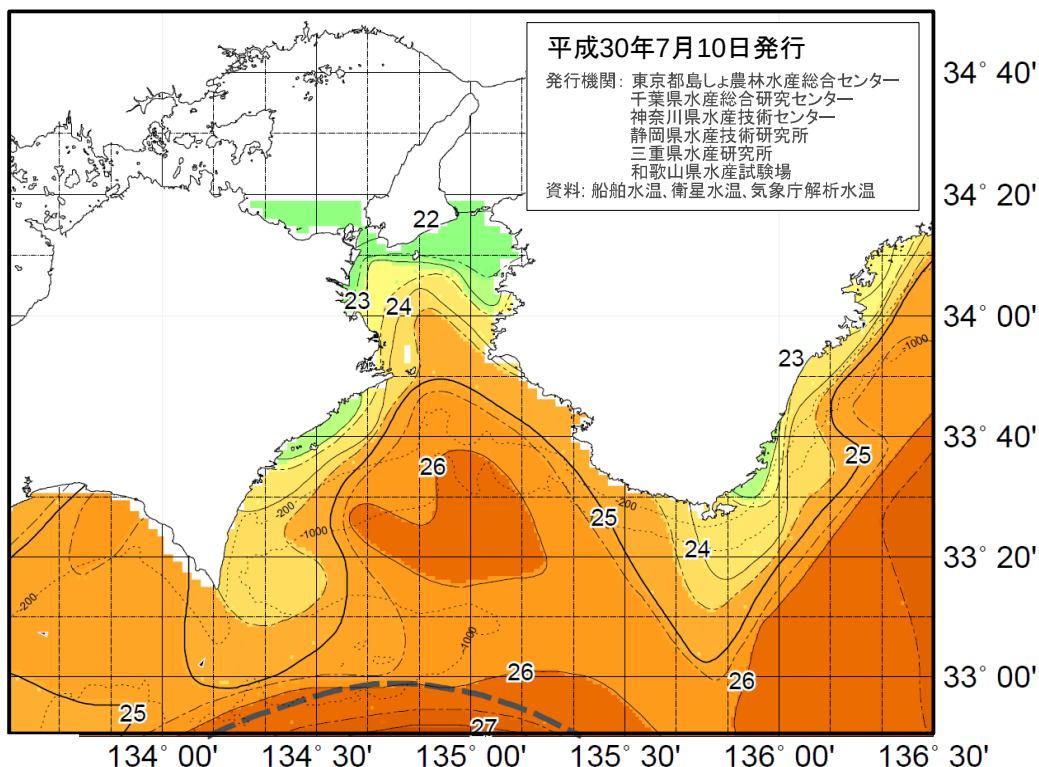
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温(7月4日～7月10日)

黒潮は、室戸岬沖では、先週に引き続き「やや離岸」で推移した。潮岬沖では「やや離岸」から「離岸」で推移した。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で21℃台、紀伊水道で22℃～24℃台、海部沿岸で22℃～24℃台となっている。紀伊水道では黒潮北縁からの暖水流入があり水温が上昇した。海部沖合では26℃台の暖水塊がみられる。黒潮の表面水温は、先週同様に26℃～27℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

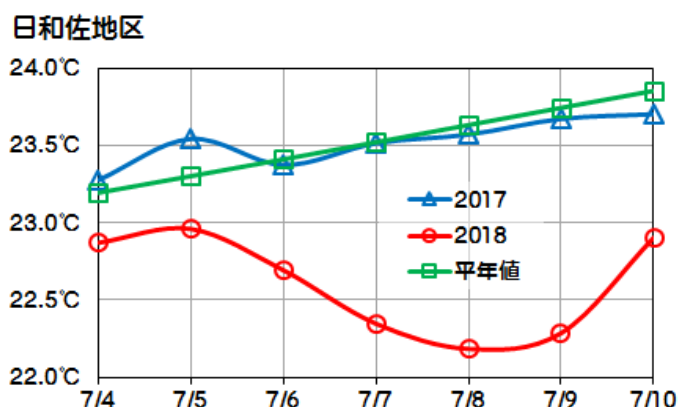
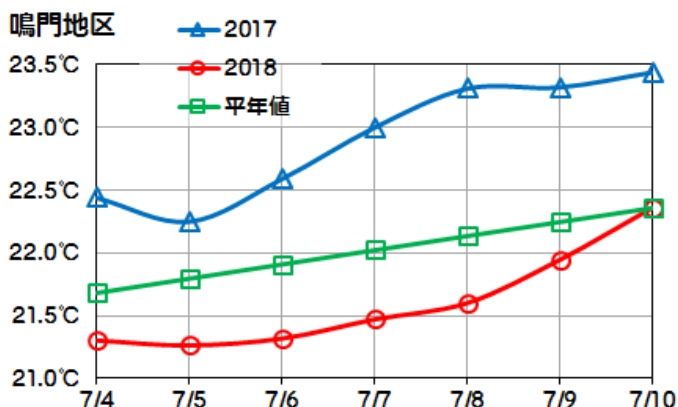
(いずれも正南方向)

海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(7月4日～7月10日)

鳴門地区の地先水温は、「平年並み」から「やや低め」の21.3℃～22.4℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、降雨の影響で「平年並み」から「やや低め」の22.2℃～23.0℃で推移した。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報(7月11日～7月17日)

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の22℃台、日和佐地区は、「やや低め」から「平年並み」の23℃台で推移する見込み。

漁況 2018年7月2日～7月8日（旧暦5月10日～5月16日）

台風の影響で出漁が少なく漁獲量は減少した。船びき網では出漁がなかった。

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

延縄では、ハモが減って3.5ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えてはまち級主体に1.6ト、マダイが増えて0.5ト、イサキが大きく増えて大主体に0.4ト、マアジが減って小主体に0.3ト、シマイサキが増えて0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて3.7ト、タチウオが大きく増えて0.6ト、マダイが大きく増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

大型定置網では、小魚類がいわし類主体に大きく減って1.2ト、マアジが大きく減って小主体に0.4ト、イサキが大きく増えて0.4ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	29	ハモ	3,459	119	中主体	↘
	小型定置網	12	ブリ	1,620	135	はまち主体	↗↗
		20	マダイ	503	25		↗
		17	イサキ	384	23	大主体	↗↗
		17	マアジ	271	16	小小主体	↘
		13	シマイサキ	262	20		↗
		19	カワハギ	113	6	大主体	↘
		底びき網	28	ハモ	3,721	133	中主体
	底びき網	15	タチウオ	569	38		↗↗
		21	マダイ	330	16		↗↗
		14	えそ類	119	8		→
		海部沿岸	小型定置網	1	ウルメイワシ	141	141
大型定置網	1		小魚類	1,207	1,207		↘↘
			マアジ	404	404	小主体	↘↘
			イサキ	361	361		↗↗
			ゴマサバ	133	133		↘↘
			ケンサキイカ	105	105	小主体	↘↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘